

第4回 嘉麻市子ども・子育て支援会議 会議録

1. 審議会等の名称 第4回嘉麻市子ども・子育て支援会議
2. 開催日時 令和6年3月27日(月) 19時00分～
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁 5階 委員会室3
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者

(1) 委員

会長 垂見 直樹

副会長 佐竹 正利

委員 春口 勇介、齊藤 由子、原田 留美子、石井 直彦
深見 隆行、井上 久仁香、大滝 知幸、赤間 秀人

(欠席：永水 秀明)

(2) 執行機関

こども育成課 課長 廣谷 友紀、課長補佐 山本 和代
課長補佐 洞ノ上 敦、保育総務係長 内山 優子
保育総務係 瓜生 花織

子育て支援課 課長 柴田 きよみ、課長補佐 永島 祐樹
家庭・教育相談支援係長 橋本 多恵

(3) 調査協力機関

株式会社サーベイリサーチセンター 下村 直輝
園田 雄己

7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び審議の内容

○開会

○議事

【議題】

- (1) 嘉麻市子どもの生活状況調査の結果報告について
- (2) 嘉麻市子育てに関するアンケート調査の結果報告について
- (3) 特定教育・保育施設の利用定員について
- (4) その他

【審議の内容】

(1) 嘉麻市子どもの生活状況調査の結果報告について

事務局から議事1により説明し、質疑応答を行った。

(会長) これは事業計画の基礎データというより、嘉麻市の現状というところで報告頂い

たと思うが、選択的にピックアップされたご報告をどのように受け止めたらいいか。特に特徴的、重要だと思う所を報告頂いたという認識でいいか。

(事務局) 国等と比較し、特に嘉麻市の特徴を顕著に表している部分を捉え、主に説明した。

(会 長) このデータを受けて、今後どのようにしたい等あるか。

(事務局) 嘉麻市においては、子ども子育て支援事業計画、子どもの貧困計画、次世代育成計画等を一本に取りまとめたこども計画を令和6年度に策定していく予定である。3月の議会において、予算と子ども計画に関わる諸々の議案について議決を頂いた。子育てに関するアンケート調査と子どもの生活状況調査の結果報告、現在集計している子ども・若者の意識と生活に関する調査、この3つの調査を元にし、嘉麻市が抱えている子どもと若者の現状を整理しながら、令和6年度の子ども計画を策定する基礎データとしてここで報告している。

(2) 嘉麻市子育てに関するアンケート調査の結果報告について

事務局から議事2により説明し、質疑応答を行った。

(会 長) 満足度について、不満だという方が3.5%増えた。これを3.5%程度であれば問題ないと捉えるか、非常に深刻だと捉えるかで、かなり解釈に幅があると思われるが、結果のみを報告するのか。

(事務局) 分析については、具体的な要因を特定する事は難しい。ただ、様々な政策を行い第1期と第2期の間では大きく満足度が上がり、不満と答えた方も減っている傾向が見られた。第2期から第3期については満足度が高い方が増えている一方で、不満と答えた方も増えている。以上のことから、第2期以降、市が開始した既存のサービスが当たり前となってしまう、ニーズの高まりや多様化が進んでいる可能性もあると思われる。

(会 長) 第1期では、様々な制度が改善されて満足度が上がったと考えられる一方で、第2期はコロナ禍で子育てに関するストレスが高まったなど様々な要因が考えられるので、その解釈が難しいと考えられる。

(委 員) 事業計画はいつまでに作るのか。計画策定の期間中は、この調査結果を掘り下げて活用するのか。

(事務局) 第3期の子育て支援事業計画は、令和6年度に策定する子ども計画の一部となるため、6年度中に策定する。策定においては、国が示している量の見込みの算出等の考え方にに基づき、本調査の結果を活用する。

(会 長) 2つの調査については、市長からの諮問事項として捉えている。この会議にて答申を出すことになると思うが、事務局より説明をお願いしたい。

(事務局) 2件の調査結果をもって、市長への答申とさせていただく。日程調整の都合上、後日事務局から市長へ答申書を提出させて頂く。

(上記、委員より承認いただく)

(3) 特定教育・保育施設の利用定員について

事務局から議事3により説明実施。

(委員) 例えば3歳児の利用定員が5人と設定されていて、認可定員が20人の際に、3歳児が5人を超えた場合は、一人当たりの給付額が減額になるわけではないのか。

(事務局) 単価の基礎になる数字であるため、子どもの数の変動で単価が上下するのではない。この給付単価の基本というものが国で決められており、25人の枠の中で年齢ごとの一人当たりの金額が決まる。利用定員は市から施設にお支払いする給付費の基礎となるものであるのに対し、認可定員が施設の本来の子どもを預かる定員になるため、稲築中央幼稚園においては60人まで受け入れるキャパシティがある。しかし、過去4年間における嘉麻市の子ども的人数は減っており、就労しているご家庭では幼稚園の利用は難しく、認可定員のまま幼稚園を運営することが厳しいという現状を踏まえ、実際の子どもの入園の数に応じた利用定員を設定し、そこに応じた給付費を市が支給するという形を取っている。

(委員) これは毎年見直しをする事ではなく、申請を行った時の人数で考えるものなのか。

(事務局) 60人の枠はあるため、子どもが増えた場合は利用定員を変更し増やす事が可能。

(4) その他

事務局から嘉麻市こども計画の策定について報告

- ・嘉麻市こども計画は来年度令和6年度に策定予定。
- ・期間は令和7年度～令和11年度までの5か年
- ・スケジュールは6月頃嘉麻市こども施策審議会を設置。素案の検討開始。
9月～11月頃にかけて子どもの意見の反映・町内の子ども政策に係る会議で報告。
12月頃に市議会委員会への中間報告。
12月～1月頃にパブリックコメントの実施。
2月頃に嘉麻市こども施策審議会の答申を頂く。
3月頃嘉麻市こども計画の策定。
その後、市議会への報告・ホームページ掲載予定。

9. 閉会

10. 配布資料

- 会議次第
- 資料1 子どもの生活状況調査に関する資料一式
- 資料2 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査に関する資料一式
- 資料3 学校法人 深見学園 稲築中央幼稚園利用定員について

○資料4 嘉麻市こども計画（略称）について